

# ひと ひと 女と男いきいきネット

ひと ひと  
女と男いきいきネットワーク久喜・通信第36号 2023, 1, 31 発行

## 記念講演



### 『男(ひと)と女(ひと)のつどい』記念講演 『ヤングケアラーを取り巻く状況』

講師：加藤 雅江さん

久喜市では、六月の男女共同参画推進月間に合わせ、男女共同参画をテーマに、私たちのネットワークと久喜市が協働で行う事業として、『男(ひと)と女(ひと)のつどい』を開催しています。昨年、一昨年とコロナの影響で開催を見合わせておりましたが、今年度は六月二五日(土)、久喜中央公民館にて、時間を短縮してですが無事に開催することができました。

ネットワーク各団体の活動内容のビデオ発表・展示、川柳などの市民作品展示、物品販売コーナーなどに加え、記念講演として『ヤングケアラーを取り巻く状況』の題で、加藤雅江さんにお話を伺いました。

精神保健福祉士で、杏林大

\*\*\*

学教授の加藤さんは、日本精神保健福祉士協会が開設した「子どもと家族の相談窓口」に寄せられたメールへの対応を行っています。この相談窓口は、家庭内での困りごとに精神保健福祉士たちが応じるものですが、最近はヤングケアラーとみられる子どもや若者からの相談が相次いでいるそうです。理由として、『ヤングケアラー』という言葉が広まったことで、これまで家族のケアを疑問に思っていなかったけど、この先どうなるんだろうと心配を表出させた人が増えたからではないか？とのことでした。

ヤングケアラーとは、「大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている十八歳未満の子ども」のことを言います。具体的なケアとしては、「家計を支える



ための労働、家族に代わり幼い兄弟の面倒を看ている、慢性的な病気の家族の看病をしている、障害のある兄弟の世話や見守り、家族に代わり家事をしている、アルコールや薬物・ギャンブルなど問題のある家族の対応」などがあげられます。令和二年に行われた厚労省の調査では、「中学生の十七人に一人、高校生の二十四人に一人がヤングケアラー」で、厚労省・文部科学省では、次の四つの施策に取り組んでいます。

- ① 「早期発見・把握」：学校、医療・福祉機関、地域（児童委員、子ども食堂など）自治体にて
- ② 「相談支援」：ピアサポート等の悩み相談、福祉サービスへのつなぎ、SSMの活用
- ③ 「家事育児支援」：ヤングケアラーが子どもであること、幼い兄弟のケアをし

④ 「介護サービスの提供」  
 ていることから家事・育児サービスとのつなぎを想定

そんななかで、加藤さんはまず何よりも、「子どもの課題について知ることの大切さ」をお話されました。具体的には、「子どもと家族を巡る背景理解」「子どもたちの死にたい気持ち」「統計から見える子どもたちの姿」「子どもの虐待の現状」です。「子どもと家族を巡る背景理解」では、コロナによる日常生活が変化し、子どもや養育者の「社会的孤立化」が著しく、そのため「DV、子ども虐待の増加、子どもや若者、女性の自殺件数の増加」「相対的貧困率の上昇」が見られること、また「SNSの普及」により「子ども間・親子間のつながりやコミュニケーションの変化」が見られ、生きづらさが増してきたことを述べられました。

「子どもたちの死にたい気持ち」では、若者の四人に一人

に希死念慮が、十人に一人が自殺未遂の経験があり、昨年の子どもの自殺は四九九人だったそうです。自殺の理由は「進路・学業・親子関係：…」等さまざまですが、その背景には「自己肯定感が低く、自分や自分が生きていくことに価値が見いだせない。貧困」があるとのことでした。「統計から見える子どもたちの姿」では、令和二年の文科省の調査結果から、次の傾向を挙げられました。

- \* いじめの減少
  - \* 暴力行為の減少
  - \* 高校中退者の減少
  - \* 不登校、小中学生の長期欠席の増加（八年連続）
  - \* 自殺者の増加（調査開始以来最多）
- また、「子どもの虐待の現状」としては、児童相談所による対応件数が二十万五〇二九件で、二〇二〇年は前年比5.8%の増加が見られました。その背景には、次の点が見られます。

\* 経済的な課題：失業／非正規雇用／金銭管理がでない。

\* 疾病や障害：保護者・子どもの疾病、障害／親族の疾病、障害・介護／メンタルヘルスの課題（アディクシオン・自殺）／ヤングケアラー

\* 養育環境の問題：ネグレクト／事件、事故の発生／ゴミ屋敷／昼夜逆転

\* 学校の中では：不登校／いじめ／引きこもり／発達の課題


\* 不安定な家族関係：DV／頼れる親族の不在／コロナ禍のストレス

\* 情報の伝わらなさ：貧困や虐待に対する誤った認識



**ケアラー支援埼玉県宣言**

私たちは、ケアラー支援への理解を深めるとともに、互いに協力してケアラーを支える輪を広げることで、ケアラーが孤立することのない社会の実現を目指します



彩の国 埼玉県

識、ステージグマへ支援の難しさ

\*「家」の孤立：「相談する」ことの敷居の高さ／アウトリーチの難しさ／子育てを「家」の責任とする風潮／ソーシャルディスタンス・ステイホーム

こう考えてくると「大人の課題」親の孤立、親の貧困、親の就労、親の病気や障害、親自身の生きづらさ」が子どももの困難につながっていることが明白です。

しかし一方で、親の課題を解決することの難しさもあるし、子どもから見た「親」「いえ」は他との比較ができないものである

り、親への愛着・依存は唯一無二のもので壊してはいけません。守るべきものであるから、そう簡単に答えが出るものでもない！まずは、彼らが愚痴をこぼしたり相談できる窓口や居場所を作ることが大事！と加藤さんはおっしゃいます。

ちなみに、二〇二〇年に埼玉県が行ったヤングケアラー実態調査の中でも、一部の子どもたちが大変だとか、支援が必要と言われても困る。本当に大変な人はできるだけそっとしておいてほしいと思う」という声や、「へんに気を遣われると、息抜きの場である学校までも失ってしまう。それでもヤングケアラーを手助けしたいならば、正しい知識を広めていてほしい」といった戸惑いの声が上がっていたと言います。

「子どもたちの負担を減らし、寄り添うことはすごく大切です。ただ、見つけることを軸にするのではなく、子どもたちが困りごとを話せる大人や専門職の人と接する機会を

増やすとか、こんな窓口があるんだよってきちんと紹介するとか、

あげることがを先に考えるべきだと思います」(そんな加藤さんの思いが伝わったのか、全国ではゆっくりと相談の窓口も増え始めていますし、自治体など行政による、SNSなどオンラインを駆使したヤングケアラー専門の相談窓口をはじめ、民間のNPOによるヤングケアラー当事者や元当事者同士の交流会、相談・情報交換を行うコミュニティサイトなど、定期的にビデオ会議(NOOE)を使った交流会なども開催されています。

最後に、「家庭が閉じないことの重要性」をお話されました。



仲間に会えるよ！DMしてね！  
家族をケアしている中学生・高校生のみんな遊ばせてあげよう！  
開催日時：毎月第3水曜21:00-

ほっと一息タイム

「埼玉県ヤングケアラーチャンネル」(ケアのこと、将来のこと、どんなことでも)：平日11時～20時

※メッセージの送信は毎日。24時間友だち登録は下記QRコードまたは


家庭が孤立すると外からの価値観を受け入れられなくなりま

す。健康性を担保し、社会や他者を信頼し「依存する力」を持つて欲しい、子どもたちには「子ども時代に生活の中で自分が大事にされること・何を語ってもいいのだということ」等を学んで欲しいと言います。そして、家庭の中に安心して自分の価値を確認できる場所がないときに、「第三の場所」を提供することが、これからの地域に必要なことだと私たち地域の課題について提案されました。加藤さん自身、地域の子どもたちに月に二回居場所と時間、夕食を提供する「だんだん・ばあ」と、月に一回学習支援をする「だんだん・らぼ」を定期開催しています。(S)

●「埼玉県ヤングケアラーチャンネル」(ケアのこと、将来のこと、どんなことでも)：平日11時～20時

※メッセージの送信は毎日。24時間友だち登録は下記QRコードまたは

<https://lin.ee/PcIpbSg>



# 報告

## 「子ども食堂から みた子ども達の今」

女と男いきいきネットワークでは、十二月六日に地域で子ども食堂を行っている以下の五団体にお越しいただき、『子ども食堂からみた子ども達の今』と題して学習会を開催しました。

前頁の加藤さんが講演会でお話された『地域の課題』第三の場所づくり』を既に実践されている各団体の方にお集まりいただき、私たちでもできることを一緒に考えました。コロナ禍のなかで、工夫しながら活動を続けている皆さんの行動力には頭が下がる思いでいっぱいです。

また、食事だけでなく「居場所づくり」「学習支援」「フードパントリー」と活動が多方面に広がっていて、高齢者対象の「食堂」居場所」づくりを行っている団体もあります。

ぜひ皆さん、自分のできるところを探してみませんか？

名称	活動場所・時間	参加費	参加年齢層・人数	ボランティア数	内容	連絡先
子ども食堂ぬくもり	本町集会所(第1・3火曜 17:00~19:00)	子ども無料/大人300円	小1~5年生(90人)	15名	子ども食堂(弁当配布)、幸喜食堂ぬくもり(高齢者対象)	柿崎武夫 090-8773-5690 ボランティアグループ
きっちん・こすもす子ども食堂	鷲宮東コミセン1階(月末土曜 11:30~13:00)	子ども無料/大人300円	未就学児~中学生(130名迄)	20名	子ども食堂(弁当配布)、フードパントリー	櫻井敬子 080-5517-2142 登録制 NPO法人きっちん・こすもす
久喜わくわく食堂	青葉と栗橋(非公開、毎月初旬)	子どもも大人も無料	高校生まで(青葉180食、栗橋50食)	60名	子ども食堂(弁当配布)、フードパントリー、学習支援	大友幸子 090-9382-2836 登録制 久喜こども応援隊わくわく
子ども食堂みんなのいえ	久喜市上内886(第4日曜 11:30~13:00)	子どもも大人も無料	幼児~中高生(100人)	15人	子ども食堂(食事 or 弁当配布)、フードパントリー、学習支援	町田大樹 090-5813-3672 一般社団法人みんなのいえ
すくすく広場	加須市(あそびひろば)月1回日曜昼/無料塾は毎週木曜17:00~)	こども100円、大人300円、1家族500円迄/無料塾は無料	あそびひろば:幼児~小学生50人/無料塾:小中学生15人	38人	子ども食堂(食事 or 弁当配布)、フードパントリー、学習支援、講演会等	戸恒 090-2411-8598 一般社団法人すくすく広場

### その他の久喜市内子ども食堂

名称	内容	連絡先
こども Cafe Arts&Eats	子ども食堂・フードパントリー	0480-21-1799 石川
ファルカオスポーツバー	子ども食堂・フードパントリー	080-4790-1189 瀬川
菖蒲みんな食堂	子ども食堂	0480-85-0605 森田
わくわく食堂菖蒲	子ども食堂	090-1432-6698 進藤

### 【編集後記】

以前この会報と一緒に作っていた故柳ひろ子さんのお連れ合いから短歌集『空白地帯』が届きました。ご夫婦でフランスを回られたときの思い出等が、いっぱい詰まっている短歌集です。「オペラ座の大通り行くこの夕べ妻と腕組みパリジャンとなる」「カルカソンヌの町を囲める城壁を妻と歩めり風に吹かれて」元氣だった頃の彼女の姿を思い描きながら、「いきいきネットワーク」の会報も36号になったよ。これからも見守っていてね」と、空に向かって呼びかけます。さてさて、何号まで続けられるかな？

### 【発行】



(進藤)

女と男いきいきネットワーク久喜

代表 内海弘美(21)8825